

あなたが思う共生ステーションはどんな「場所」？
(アンケートから)

絆が生まれる(作れる)場

人と人をつなげる場

弱者を大切にすゝる拠点

校区の真ん中にある

目的を持たずとも集まる(寄る)場所。
(夜もやっている)

みんなが集まりやすい場所

「なんとなく」行きたくなる場所

まちづくりの拠点



当日のワークショップの様子

どなたでも参加できます！
ぜひお越しください。

次回(第2回)の南のステーション検討会

日時:11月28日(土)10:00~12:00
会場:西小校区共生ステーション 会議室

主催:南小学校区自治会連合会・長久手市
【問合せ先】事務局:長久手市くらし文化部たつせがある課地域協働係
電話:0561-56-0602(直通)
Eメール:tatsuse@city.nagakute.lg.jp

南のステーション検討会(第1回)



地域共生ステーションとは？

「ふらっと小屋(こやあ)」をコンセプトに、誰もが気軽に集まり、語らい、地域のことを地域で考え、地域独自の取組を行うことのできる「場」として、小学校区ごとにつくっていきます。

平成27年9月27日(日)

10:00~12:00 参加者24人
長久手市まちづくりセンター 集会室1

南小学校区で行われている、いろいろな活動の「場」、そして、子どもからお年寄りまで、みんなの「寄り所」となる地域共生ステーション。そんな新しい地域の場づくりをみんなで考えて、つくっていくために昨年4回の『南の座談会』と『まちあるきワークショップ』を開催してきました。今回は名前を新たに「南のステーション検討会」として、ステーションをどんな場にしたいか、そこで何をするのか等、より具体的な内容について検討しました。

プログラム

- 10:00 開会
- 10:05 これまでの経緯説明
- 10:20 ワークショップ①
「地域の魅力や課題について考えてよう」
- 10:45 ワークショップ②
「ステーションでやりたいこと・できることを考えてみよう」
- 11:15 全体発表
- 11:40 今後の進め方
- 12:00 閉会

ワークショップ

4つのグループに分かれて、南小校区の魅力や課題について考えました。
話し合いを通して、南小校区の共生ステーションはどんなところで、どんな事をしたいか、アイデアを出し合いました。

Aグループ みんなの学校 ~地域に卒業はない~



地域の課題/ステーションに必要なモノ・コト

- ・まちに歩いている人がいない。⇒近所に行ける場所がほしい。
- ・やっぱり小学校の中にステーションを作りたい!
- ・地域に話し合う場所がない。



テーマ設定!
やりたいことをイメージ!

- ・広く住民が集まれるみんなの学校を作る!
- ・地域全体で子どもを見守れる場所。
- ・誰もが先生にも生徒にもなれる。
- ・部活、サークルも作ろう。(⇒「食」のイベント実施等)

Bグループ 「人」「情報」が集まる基地



地域の課題/ステーションに必要なモノ・コト

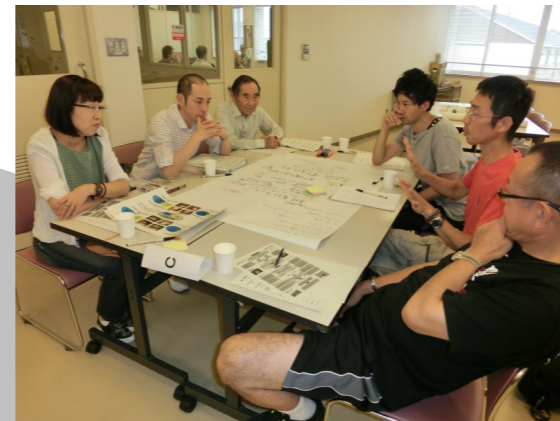
- ・住民の年代層がとても雑多。
- ・ご近所付き合いが少ない。人に会う機会がない。
- ・地域の情報共有ができない。
⇒治安悪化、孤独死の増加につながってしまう……。



テーマ設定!
やりたいことをイメージ!

- ・子どもから高齢者まで、「ワイワイ話せる」「人に会える」場。
⇒ちょっと人に会える、新たなつながりを生み出せる場所に。
- ・みんなが集まれる場にするために「南のおまつり」を実施する。
- ・地域の情報も発信したい。
- ・今あるものを活用してステーションを作る。⇒山小屋風の建物。

Cグループ 集まらない人が集まる場



地域の課題/ステーションに必要なモノ・コト

- ・普段集まらない層をターゲットに! ⇒どう取り込むかが重要。
- ・ステーションにも運用の「目的」が必要。
- ・ただの「場」ではいけない。⇒意味のない所に人は集まらない。



テーマ設定!
やりたいことをイメージ!

- ・普段集まらない層にヒアリングする。
- ・子ども向けレジャーや魅力的な祭りの実施でアピール!
- ・どの施設も行っていないサービス。(夜の本貸出サービス等)
- ・シニアの憩いの場も意識。⇒介護の横のつながりも作れる。
- ・おしゃれでお酒も飲めると良い。

Dグループ みんなの生きがいの場



地域の課題/ステーションに必要なモノ・コト

- ・弱者を大切にしたい。
- ・高齢者が目的を持って一日を過ごせる地域にしたい。
- ・地域の仲間意識が高まると良い。
- ・南小校区は犯罪が多い



テーマ設定!
やりたいことをイメージ!

- ・各種高齢者クラブの活動拠点に!(小学生の見守り隊等)
⇒拠点があるとクラブ間の横のつながりも生まれる。
- ・防災、防犯活動の中心の場にしたい。(啓蒙活動等)
⇒犯罪率の減少につながる。
- ・若者や女性を巻き込める場づくりや、イベントを実施する。